

「根岸住宅地区跡地利用基本計画」を策定しました

根岸住宅地区は、中区、南区、磯子区にまたがる約43haの米軍施設ですが、国による原状回復作業が開始され、返還が現実的になってきました。

本市では、地権者の皆さまと意見交換を重ねながら「根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）」を令和2年9月に公表し、10月30日から11月30日まで市民意見募集を行いました。

このたび、いただいたご意見を踏まえ、跡地利用の基本方針となる「根岸住宅地区跡地利用基本計画」を策定しました。

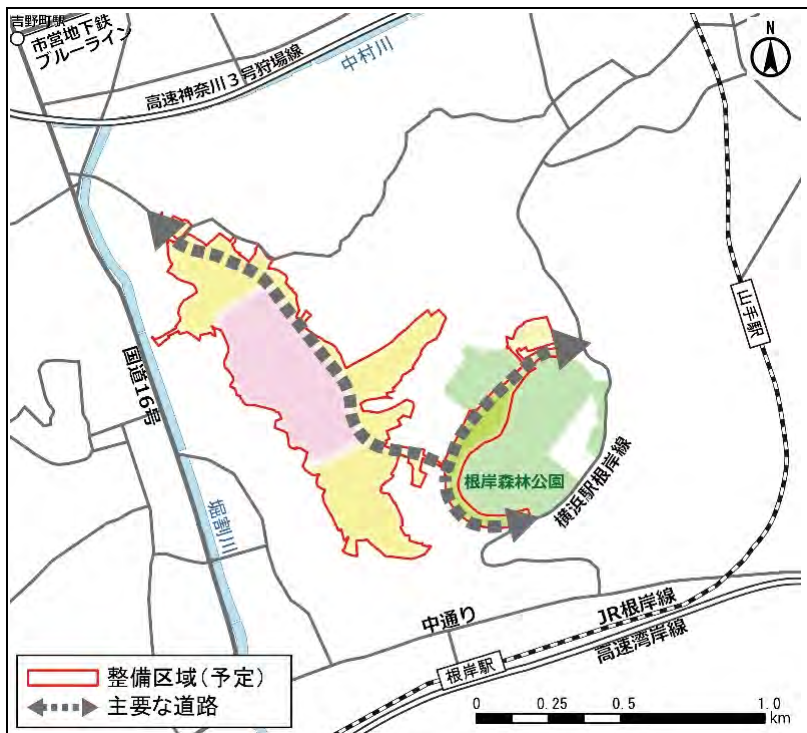
跡地利用基本計画の概要

【まちづくりのテーマ】 多世代が息づき、緑と文化の風かおるまち

【まちづくりのコンセプト】

- 自然や緑が身近に感じられる、環境と共生するまち
- 開放的で空間にゆとりの感じられる、質の高いまち
- 高齢者をはじめ、いろいろな世代の人が住めるまち
- 安全・安心なまち
- コミュニティのつながりが感じられるまち
- 横浜都心部との近接性を生かし、周辺地区と連携するまち

■土地利用計画【ゾーニング】



文教ゾーン

- 教育・研究の場である大学施設を想定し、国有地を集約します。
- 横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備の最有力候補地としています。

住宅地等ゾーン

- 住宅施設の立地を想定し、根岸駅や吉野町駅からのアクセス性に配慮します。
- 低層住宅を主とし、一部に中層住宅を想定しています。

森林公園ゾーン

- 根岸森林公園を拡張します。

全域

- これらのほか、身近な公園をはじめとする地域に必要な都市インフラ、福祉施設、消防施設などの公共・公益施設や生活利便施設等の配置を検討していきます。また、次の時代をけん引する成長分野の研究開発を促進するため、横浜市立大学以外の教育施設や、産学連携の充実に向けた土地利用を図っていくことなども引き続き検討していきます。
- 広域避難場所としての機能を継続できるよう土地利用を図っていきます。

【裏面あり】

市民意見募集の概要

1 実施概要

実施方法	根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）及び横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備構想（案）について、同時に実施。
実施期間	令和2年10月30日（金）から11月30日（月）まで（当日消印有効）
パンフレット 配布場所	○市民情報センター、18区役所広報相談係【19か所】 ○中区、南区、磯子および金沢区内のPRボックス【110か所】
主な周知方法	○記者発表（10月29日） ○広報よこはま11月号「はま情報」 ○市ホームページ（政策局基地対策課）

2 実施結果

意見通数	意見件数	内訳
234(通)	345(件)	はがき34通、電子メール24通、FAX6通、電子申請167通、封書3通

3 意見の内訳

項目	意見数（件）
ア 道路の整備に関する事	89件
イ 計画全般について	69件
ウ 交通アクセスに関する事	49件
エ 景観に関する事	39件
オ 公園の整備に関する事	34件
カ 具体的な施設の提案に関する事	28件
キ その他	37件
合計	345件

●ホームページから、跡地利用基本計画（本編）・概要版・市民意見募集の結果をご覧ください。

・根岸住宅地区の跡地利用 [基地対策課]

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/kichi/beigun/negisitochi.html>

4 今後の進め方

策定した跡地利用基本計画を踏まえ、早期事業化に向けた検討を進めます。

お問合せ先

政策局基地対策課担当課長 道場 守里 Tel 045-671-3790